

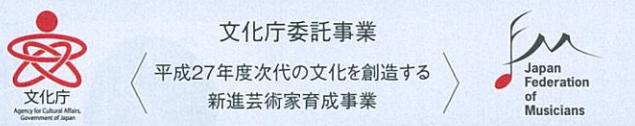
Kanji Kozuta

PIANO
小薦寛二
国立ベルリン芸術大学
大学院修了

1. シューマン
ピアノ協奏曲
イ短調 Op.54

OBOE
藤本茉奈美
東京藝術大学
大学院修士課程1年在籍

2. マルティナー
オーボエ協奏曲



新進演奏家 育成プロジェクト

第28回 広島 オーケストラ シリーズ

オーディションによって選ばれた、将来を期待される
音楽家たちが広島交響楽団と夢の共演!
限りない可能性を秘めた、
若さあふれるフレッシュな演奏をお楽しみください。



指揮
末廣 誠



管弦楽
広島交響楽団

2016年2月4日[木]
開演18:30(開場18:00)
JMSアステールプラザ大ホール

全席自由／2,500円(税込)

チケット
取扱い

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド
福屋広島駅前店チケットサロン・中国新聞社読者広報部
広響事務局

※都合によりプログラム等を変更する場合ございます。

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

主催: 文化庁、公益社団法人日本演奏連盟

公益社団法人広島交響楽協会

制作: 公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人広島交響楽協会

後援: 中国新聞社

お問い合わせ

広響事務局 TEL.082-532-3080 [受付 9:00~17:20(土日祝休)]

Atsuko Hirobata

FAGOTTO
廣幡敦子
東京藝術大学
大学院修士課程修了

3. ウェーバー
ファゴット協奏曲
ヘ長調 Op.75

PIANO
松元あや
パリ国立地方音楽院
演奏家過程卒業

4. プロコフィエフ
ピアノ協奏曲 第2番
ト短調 Op.16

Manami fujimoto

Aya Matsumoto



ピアノ
小薦 寛二

広島県出身。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻、同大学院修士課程音楽研究科を修了。大学院在学中よりドイツに渡り、国立ハノーファー音楽演劇大学、カッセル市立音楽院、国立ベルリン芸術大学大学院を修了。第18回ブラームス国際コンクールピアノ部門第2位、パルマ・デ・マヨルカ国際ピアノコンクール第2位、バルチック国際ピアノコンクール第1位ほか、多数の国際コンクールに入賞。欧州や日本各地でのソロリサイタルの他、ソリストとしてケルントナー交響楽団、モニューシュコ音楽アカデミー交響楽団とピアノ協奏曲を共演。オーストリアの主要ラジオ局ORFに出演。ベーバーゼー音楽祭、ゴスラー・ハルツ音楽祭に招待される。ピアノを牛ノ浜由紀、小嶋素子、西川秀人、渡辺健二、原田英代、アイナル・ステーン＝ノクレペルグ、クリスティアン・ペーターゼン、マルクス・グローの各氏に師事。



ファゴット
廣幡 敦子

岡山県出身。東京藝術大学音楽学部を経て東京藝術大学大学院修士課程修了。修了時に大学院アカンサス音楽賞受賞。2009年～2011年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト及びサイトウキネンフェスティバル 青少年のためのオペラに参加。第37回藝大室内楽定期に出演。アフィニス夏の音楽祭2014山形、2015広島に参加。

これまでにファゴットを東口泰之、岡崎耕治の各氏に、室内楽を守山光三、三上明子、小畠善昭、河村幹子、三界秀実、和久井仁、岡崎耕治、日高剛の各氏に師事。ジョルジオ・マンドレージ、バレンティーノ・ズッキヤッティ、ジルベール・オダンのマスタークラスを受講。

現在、広島交響楽団ファゴット奏者、広島文化学園大学非常勤講師、明誠学院高校特別講師。



オーボエ
藤本 茉奈美

山口県岩国市出身。岩国市立平田中学校、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。岩国市ソロ・アンサンブルコンテストにおいて岩国の文化を育てる会理事長賞受賞。山口県学生音楽コンクール中学生部門1位。第41回山口県芸術演奏会出演。選抜演奏会「藝大定期【室内楽第41回】」出演。第13～15回防府音楽祭にアーティストとして出演。芸術・文化若い芽を育てる会牛尾シズエ賞受賞。柴滋、広田智之、小畠善昭、和久井仁の各氏に師事。室内楽を小池郁江、和久井仁、岡本正之、三界秀実の各氏に師事。これまでにD.ヨナス、H.シェレンベルガー、T.インデアミューレ、M.ブルグのマスタークラスを受講。現在、東京藝術大学大学院修士課程1年在学中。ばんだウンドオーケストラオーボエ奏者。



ピアノ
松元 あや

パリ在住 広島市出身。4歳よりピアノを始め、数多くの演奏会に出演、コジマムジカコレギアにてモーツアルト協奏曲20番を、キエフにおいてウクライナ国立管弦楽団とチャイコフスキーアカデミー協奏曲1番、ショパン国際コンクールinAsiaアジア大会においてコンチェルトC部門入賞、クラコフ管弦楽団とショパン協奏曲1番を共演。

フランス現代作曲家、ロジェ・ブリ氏の「ピアノと管弦楽のために」をフランス国家警察音楽隊と共に、ブリ氏より「とても魅力的な演奏」と賞賛され初演を成功させる。また帰国の度、菊地裕介氏とのデュオコンサートをはじめ、室内楽など著名なアーティストと共に演奏している。

これまでにピアノを、故中島和彦、米川幸余、角野裕、松本和将、小嶋素子、ジャン・マリ・コテ、ドゥニ・バスカル、室内楽をロマン・デシャームの各氏に師事。

パリ国立地方音楽院 演奏家過程卒業。現在、フランス国内音楽院にて後進の指導にあたりながら、スコラ・カルトルム音楽院においてガブリエル・タッキーの下、研鑽を積んでいる。

指揮／末廣 誠

鹿児島県生まれ。鹿児島大学を経て桐朋学園大学で学ぶ。指揮を秋山和慶、堤俊作、H.レーヴナーの各氏に師事。

1981年、石井歓によるオペラ『カントミ』の初演を指揮。1989年、リム斯基=コルサコフの歌劇『サルタン王の物語』の日本初演においては訳詞及び指揮を担当し、高い評価を受ける。以後オペラを数多く手がけ、豊富なレパートリーを誇っている。バレエでも初演を含め多くの作品に参加しており、舞台作品における技量は各界から厚い信頼を得ている。

1990年にサボルチ交響楽団を指揮。同年、イエナ・フィルハーモニー管弦楽団を指揮し、チューリンガー・アルゲマイネ紙に「真にプロフェッショナルな指揮者」と称賛される。1991年、第4回フィッタルベルク国際指揮者コンクールにおいて第1位ゴールドメダルとオーケストラ特別賞を併せて受賞。翌年よりポーランド国立放送交響楽団をはじめとするオーケストラに招かれ、クラコフ放送交響楽団の首席客演指揮者に就任。また、国立シレジア歌劇場においてヨーロッパにおけるオペラデビューを果たし、定期客演指揮者として高い評価を得た。1999年にはジャズピアノの巨匠チック・コリアと共演、同氏より絶大な信頼を寄せられる。

帰国後は仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、札幌交響楽団で指揮者を歴任。ほかにも多岐にわたる活動を続けており、執筆活動での軽妙な切り口が好評を得る一方、演奏会の司会や企画にもその才能は遺憾なく発揮されている。2007年レッスンの友社よりエッセー「マエストロ・ベンのお茶にしませんか?」を刊行。東邦音楽大学特任准教授。



管弦楽／広島交響楽団

国際平和文化都市“広島”を本拠地とする、中・四国唯一の常設プロオーケストラ広響は、1998年に日本を代表する指揮者である秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。2001年度から文化庁より我が国の芸術水準向上の牽引力となる芸術団体への特別支援事業の指定団体となっており、各方面から一層の活躍を期待されている。また2011年4月には、新たに公益社団法人の認定を受け、演奏活動のみならず様々な社会貢献活動にも励んでいた。2015年8月、被爆70年として広島とサントリーホール(広響初)で行われた「平和のタバ」コンサートでマルタ・アルゲリッチと協演し、大成功をおさめる。特にサントリーホール公演では天皇・皇后両陛下のご臨席を賜り、天覧公演となつた。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>